

市町村合併についての市民の声

市民一人ひとりの顔の見える行政が行われるべき。合併をして大きなまちになるのが必ずしもよいことではないと思う。5、6万人の人口がちょうどよいのではないが。

大きなまちは大型店で買い物やコンサートなどの催しも多く、楽しいことがいっぱいあります。小さいまちはなんとなくさびしい。

これまで登別市では、市の総合計画策定や西暦2000年記念事業などを通して、市民参加のまちづくりが積極的に進められ、市民のなかに浸透してきた。

ほかの市と合併することで、これまで築き上げてきた市民と行政による協働のまちづくりなどが失われてしまうのでは。

市民は、まちづくりやボランティアなど、さまざまな面でまちの発展のため精一杯頑張ってきたのに意気込みがそがれるのではないのでしょうか。

西胆振地域というのは、景色は良いし、港があり漁業も盛んなうえに、観光も工業もあり、農畜産業もあるとてもすばらしい地域で、大きな時代の変化が押し寄せようと独立できる地域。西胆振地域全体で合併を議論できないのでしょうか。

無理に合併しなくても、西胆振がヨーロッパのような共同体として、互いに協力することでよいのではないのでしょうか。

せん。これが軌道に乗るまでには、相当の時間がかかると考えられます。

Q16 借金の多いまちと合併した場合、私たちはその借金も背負わなければならないの？

A16 合併すると、当然、負債である借金も持ち寄ることになります。

Q17 登別市に住んではいますが、勤務先は室蘭市。すぐに合併しても違和感はないと思えますが？

A17 登別市内の各地区（鷲別・幌別・登別・登別温泉）によって、まちの合併への思いは、相当な温度差があるようです。

室蘭市との合併を望む声は鷲別方面。登別や登別温泉地区では、白老町との声が強く、広域観光の面で壮

警町とはどうかという声もあります。登別市はまちの形態が4地区に分

かれているといわれてきましたが、地区割りをなくすよう施策を推進してきたので、その隔たりは無くなってきたのではないのでしょうか。

しかし、一つにまとまるということに決して易しいことではありません。繰り返し、話し合いを行っていくことが必要です。

Q18 登別市の合併相手の一つとされる室蘭市はいわば企業城下町。住民の気質も異なり、合併しても一体になれないのでは？

また、まちが合併すると、登別市の名前はなくなってしまうのですか？

A18 まちにはそれぞれ、永年かかって培ってきた歴史や文化などがあり、お互いの気持ちを合せる

ように努力しなければ、感情的な対立を生じかねません。

合併を急いだばかりにしこりが残っているまちもあるようですので、十分な時間をかけて議論を行うことが重要と考えます。

まちの名称については、合併協議会で検討することになります。



市町村合併について市民の質問に答える上野市長

合併論議を通して、まちづくりを考えてみましょう

いま、地方分権が進められています。これからの地方自治は、その主権者である住民の意思がきめ細やか

に反映したものでなくてはなりません。

市は、市町村合併について、先人が汗を流して築き上げてきたふるさと登別そのもののあり方を決める、そして将来にわたり市民一人ひとりの生活に大きな影響を及ぼす大変重要な課題と受けとめています。

市民のみなさんに市町村合併に関する国の動きや制度、そしてまちの産業や行財政、市民生活などに及ぼす影響、さらには、市民一人ひとりの思いや意見など、さまざまな情報を提供し、私たちのまちをどうするのか、熱心な議論をしていただいた上で、その進むべき方向を見出し、していきたいと考えています。

市町村合併の論議は、これまでのまちづくりを見つめ直すとともに、私たち市民一人ひとりがふるさとへの思いやかわり方などを問い直す上で、よい機会でもあります。みなさん一人ひとりの熱心な議論をお願いします。

市町村合併について市と意見交換しませんか

市は、『市職員出前フリートーク』（4）で、市町村合併やまちづくりなどについて、市民のみなさんと意見交換しています。ぜひ、お申し込みください。

対象 小人数の市民（グループ）

『市職員出前フリートーク』のお申し込みは、情報推進課（広報広聴）

☎85 6 5 8 6 ・ ☎85 1 1 0 8

Eメール：

pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

市町村合併に関するご質問、ご意見、ご感想は、

企画課

☎85 1 1 2 2 ・ FAX85 1 1 0 8

Eメール：

kikaku@city.noboribetsu.hokkaido.jp